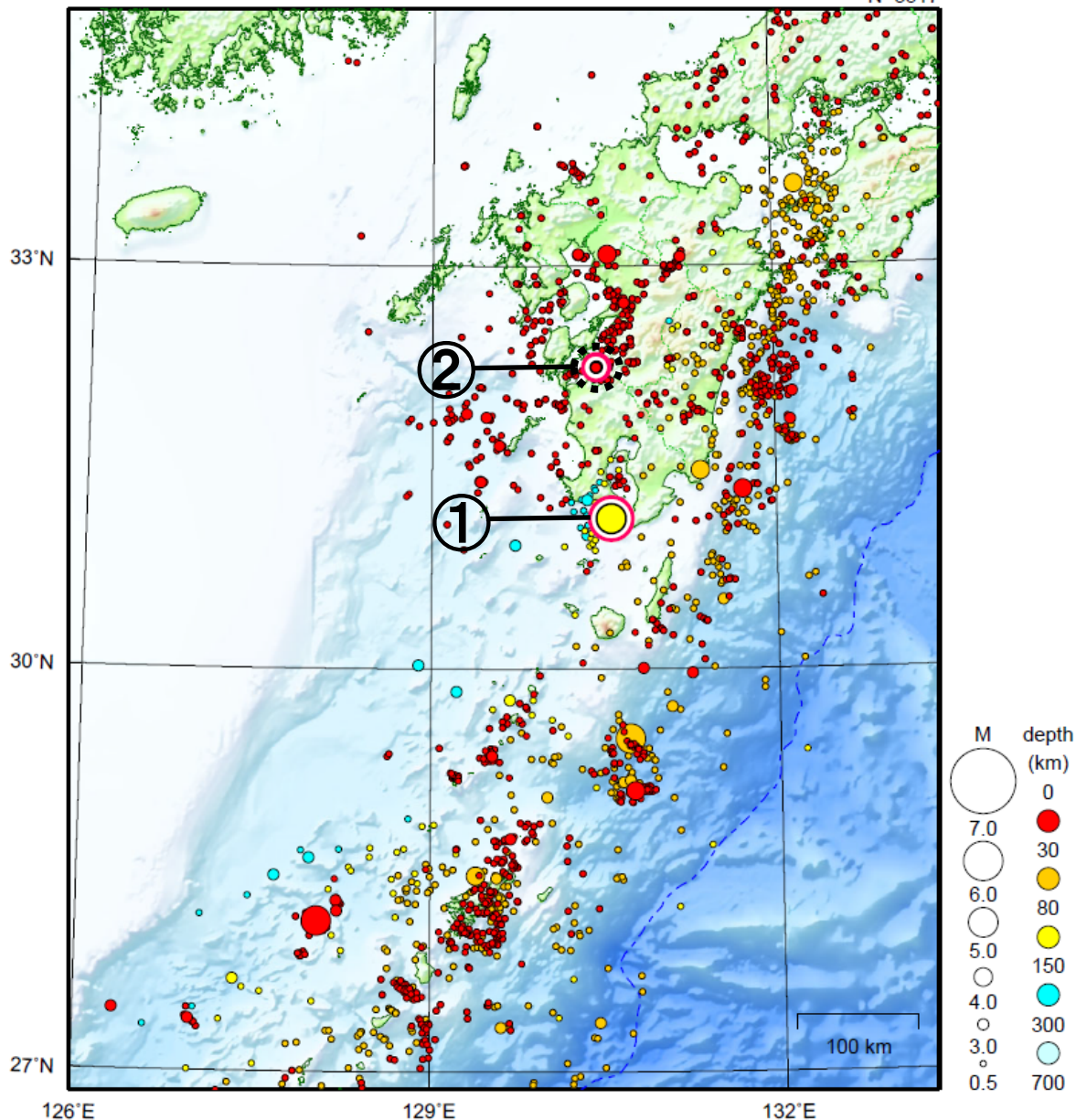


# 九州地方

2026/03/01 00:00 ~ 2026/03/31 24:00

N=3517



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30 及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

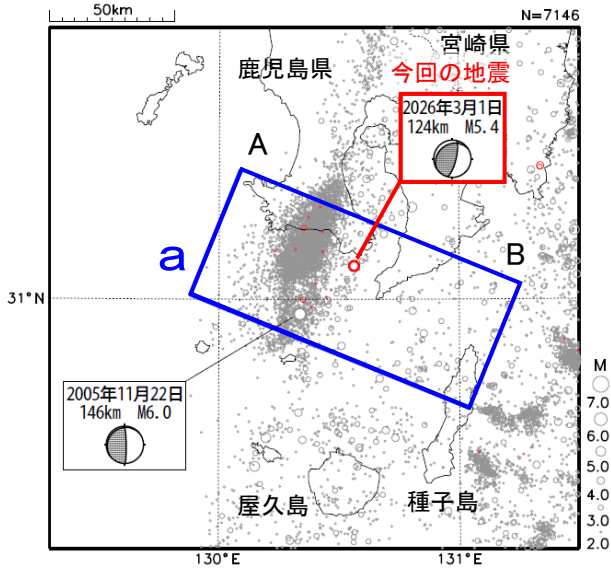
- ① 3月1日に薩摩半島西方沖で M5.4 の地震(最大震度3)が発生した。
- ② 熊本県天草・芦北地方では、3月15日に M3.9 の地震(最大震度4)、3月21日に M3.5 の地震(最大震度4)が発生した。3月中に震度1以上を観測した地震は51回(震度4：2回、震度3：3回、震度2：10回、震度1：36回)発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度4以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度3以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

# 3月1日 薩摩半島西方沖の地震

震央分布図  
 (1997年10月1日～2026年3月31日、  
 深さ30～200km、 $M \geq 2.0$ )  
 2026年3月に発生した地震を赤色○で表示  
 図中の発震機構はCMT解

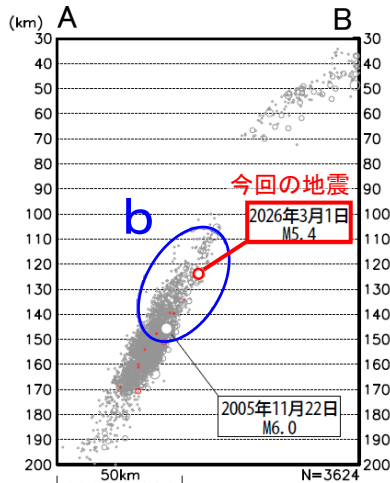


2026年3月1日18時00分に薩摩半島西方沖の深さ124kmでM5.4の地震 (最大震度3) が発生した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。この地震の発震機構 (CMT解) は、フィリピン海プレートの沈み込む方向に張力軸を持つ型である。

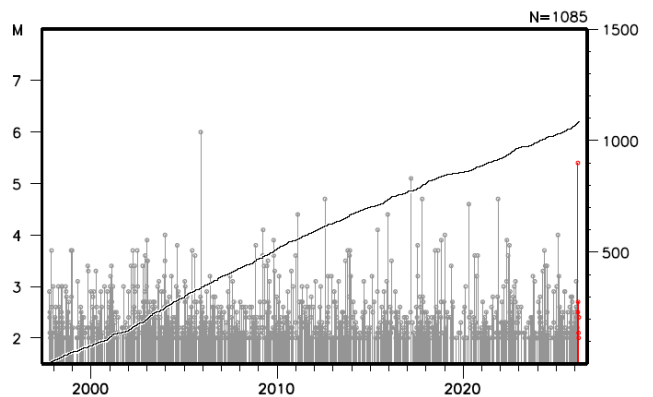
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、M5.0以上の地震が今回の地震を含め3回発生している。2005年11月22日にはM6.0の地震 (深さ146km、最大震度3) が発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、M6.0以上の地震が4回発生している。1978年5月23日にM6.4の地震 (最大震度4) が発生している。

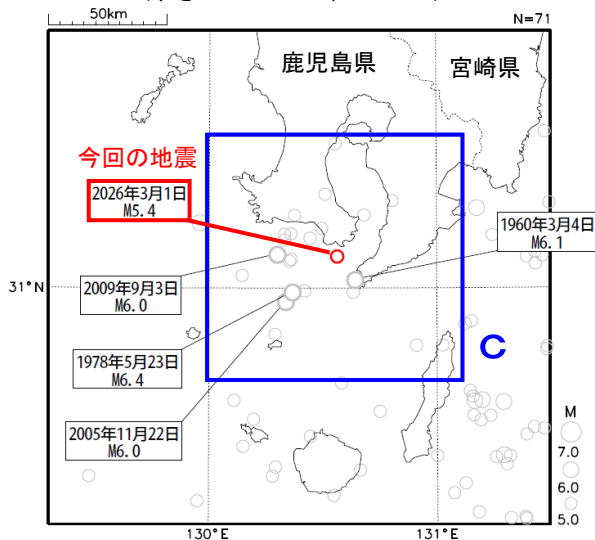
領域a内の断面図 (A-B投影)



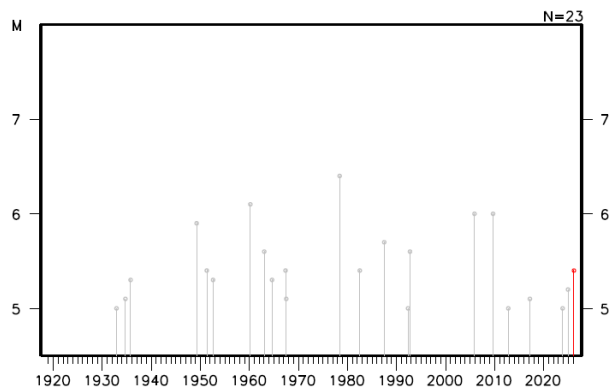
領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図  
 (1919年1月1日～2026年3月31日、  
 深さ30～200km、 $M \geq 5.0$ )



領域c内のM-T図



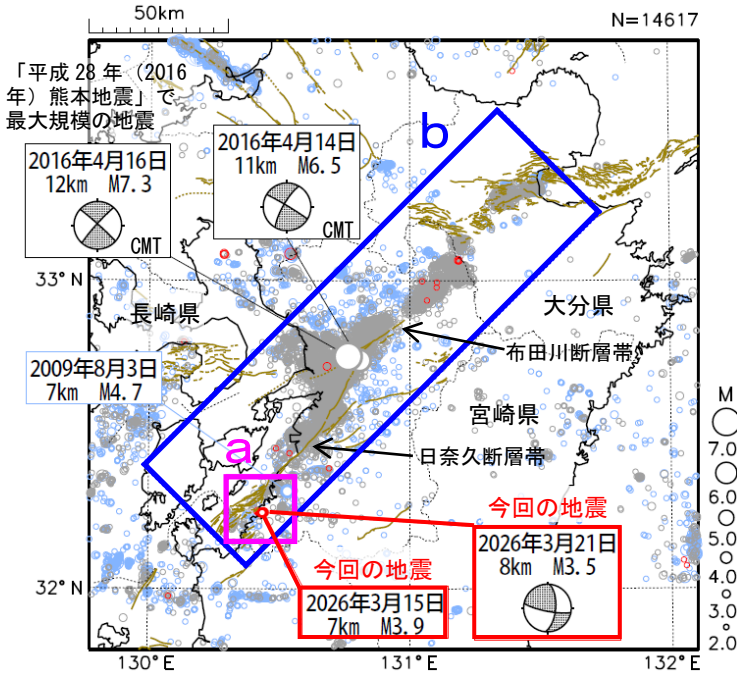
気象庁作成

# 3月15日からの熊本県天草・芦北地方の地震活動

## 震央分布図

(2000年10月1日～2026年3月31日、  
深さ0～20km、 $M \geq 2.0$ )

2016年4月14日21時より前に発生した地震を薄青色○、  
2016年4月14日21時以降に発生した地震を灰色○、  
2026年3月に発生した地震を赤色○で表示



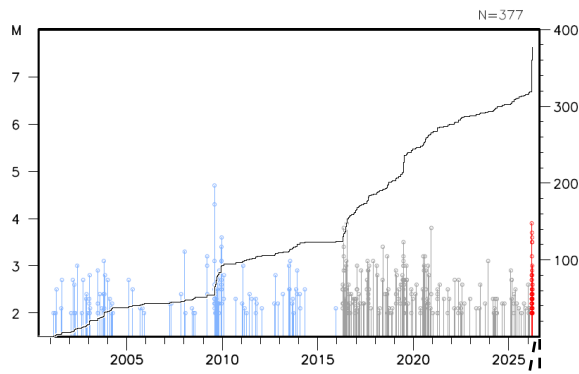
図中の茶色の線は地震調査研究推進本部の  
長期評価による活断層を示す

2026年3月15日23時10分に熊本県天草・芦北地方の深さ7kmでM3.9の地震（最大震度4）が発生した。また、21日20時42分にほぼ同じ場所の深さ8kmでM3.5の地震（最大震度4）が発生した。これらの地震は地殻内で発生した。21日の地震の発震機構は北西－南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型である。これらの地震の震央付近では、3月15日23時頃から地震活動が活発になり、31日までに震度1以上を観測した地震が51回（震度4：2回、震度3：3回、震度2：10回、震度1：36回）発生した。

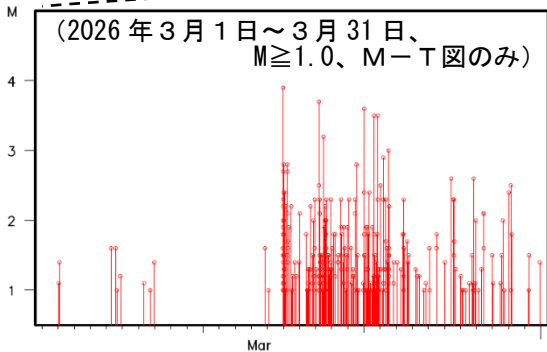
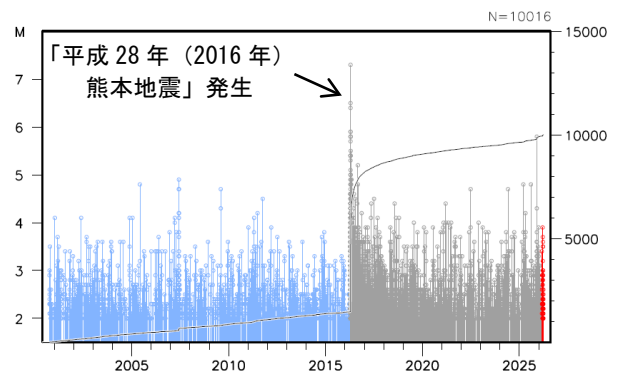
2000年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）ではM3.0以上の地震がしばしば発生している。2009年8月3日にM4.7の地震（深さ7km、最大震度4）が発生している。

また、領域bでは「平成28年（2016年）熊本地震」が発生し、この地震により熊本県で死者275人、大分県で死者3人などの被害が生じた（熊本県の被害は2025年4月11日現在、熊本県による、その他は2019年4月12日現在、総務省消防庁による）。

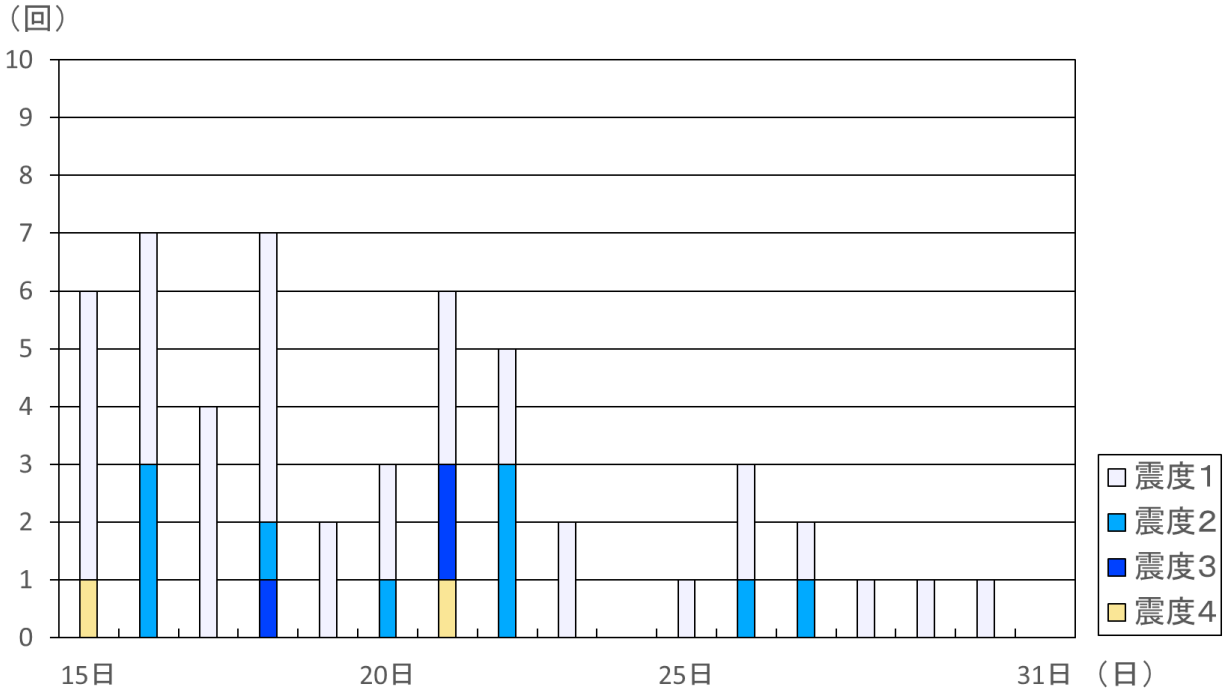
領域a内のM-T図及び回数積算図



領域b内のM-T図及び回数積算図

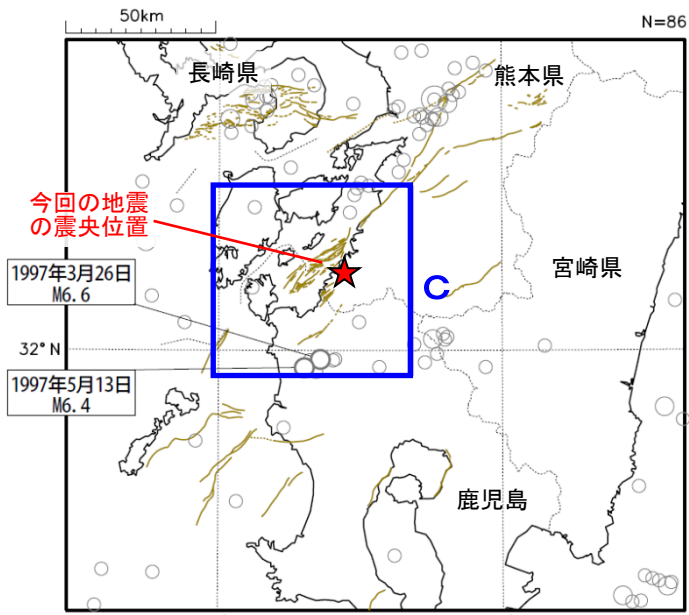


最大震度別地震回数（日別）  
 (2026年3月15日23時～3月31日24時、震度1以上の地震)



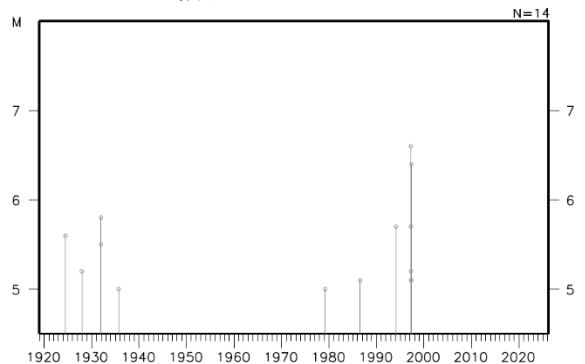
1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M6.0以上の地震が2回発生している。1997年3月26日にはM6.6の地震（最大震度5強）が発生し、負傷者36人、住家全壊4棟などの被害が生じた。また、同年5月13日にはこの地震とほぼ同じ場所でM6.4の地震（最大震度6弱）が発生し、負傷者43人、住家全壊4棟などの被害が生じた（被害はいずれも「日本被害地震総覧」による）。

震央分布図  
 (1919年1月1日～2026年3月31日、  
 深さ0～50km、M≥5.0)



図中の茶色の線は地震調査研究推進本部の  
 長期評価による活断層を示す

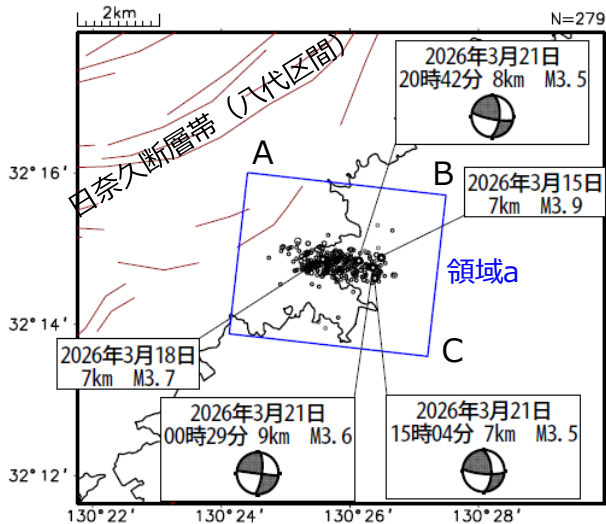
領域c内のM-T図



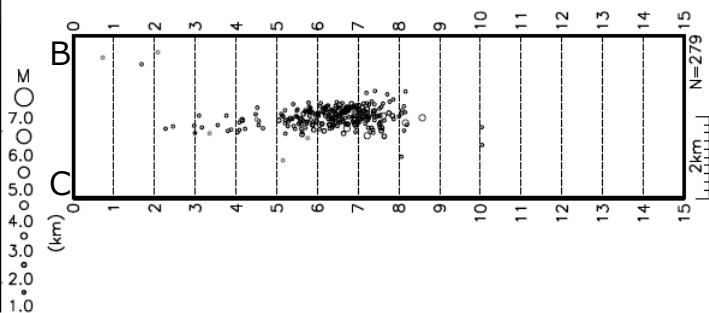
# 3月15日 熊本県天草・芦北地方 (今回の地震活動)

震央分布図

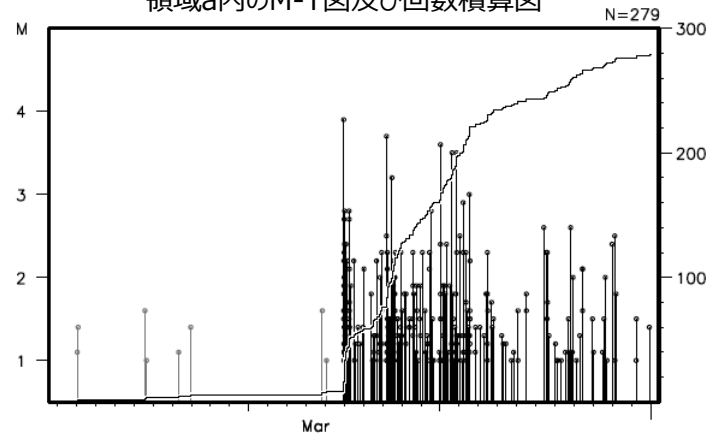
(2026年3月1日~2026年3月31日、深さ0~15km、M $\geq$ 1.0)



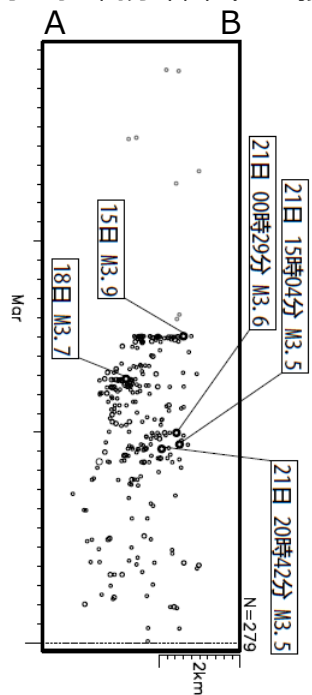
領域a内の断面図 (B-C投影)



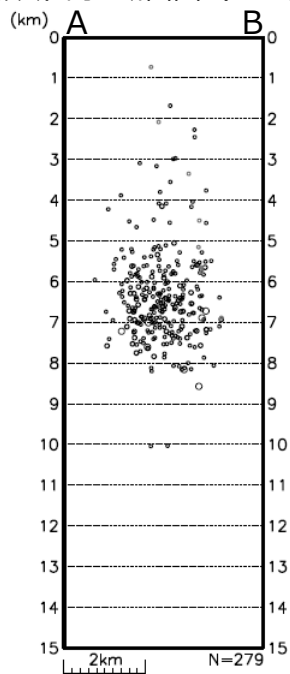
領域a内のM-T図及び回数積算図



領域a内の時空間分布図 (A-B投影)



領域a内の断面図 (A-B投影)



領域a内の深さの時系列図

